



令和5年3月10日（金）発行

学校だより No.16



沼田市立沼田西中学校

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》 ○ 向学 ……自ら学ぶ生徒
○ 礼節 ……思いやりのある生徒
○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》…生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》…熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】「主体性と支え愛の創造～3つの気（やる気・勇気・根気）を伸ばすワンポイントアップ大作戦～」

卒業する3年生の皆さんへ

3年生の皆さん、いよいよ3月13日で卒業ですね。3年生の皆さんは、私と一緒に沼田西中へ入学してきました。3年前、緊張した面持ちで入学式を向かえた皆さんの姿を昨日のこのように覚えてます。あれから、あっという間の3年が過ぎていきました。この3年間は、新型コロナの感染対策のため多くの制限があった中ですが、皆さんはピンチをチャンスに変え、心身ともに大きく成長することができました。沼田西中で身につけた「主体性と支え愛」と、それを実現するための3つの気（やる気・勇気・根気）に自信を持ち大きく羽ばたいてください。今後、進む道は違いますが、固い絆で結ばれた友達は一生涯の友達です。そして、沼田西中の先生方は、いつまでも皆さんを応援しています。（この3年間は、私にとっても楽しく幸せな時間であり、私の宝物です。）

この貴重な3年間の中でも特にこの1年間は、卒業する皆さんにとって貴重な1年間だったと思います。新型コロナの収束には至りませんでしたが、感染対策が緩和され、多くの行事が対策を講じながら有観客で実施されました。皆さんは、3年ぶりの有観客で実施された各行事で、自分達が主体となって準備から運営まで取り組み、主体性と支え愛、そして3つの気を伸ばしてきました。



2泊3日で実施された修学旅行では、事前の調べ学習から真剣に取り組む奈良・京都の名所守り、奈良・京都の歴史の重みと深さに触れることができました。特に2日目の班別行動では、お互いが協力し合い事前に立てた計画に沿って楽しく有意義な時間を過ごすことができました。有観客で開催された運動会では、多くの観客の方々が応援してください。各クラスが優勝目指し一致団結して各競技に取り組みました。事前の準備では、実行委員が中心となっってコロナ対策をしながら楽しく取り組みました。3年ぶりに実施された校内合唱コンクールでは、圧巻の合唱を披露してくれました。聴いている人みんなが、その歌声に感動し心が震えました。つ何日も前から全員で協力し合いながら練習し、その練習を通して心が一つになり、あの素晴らしい合唱に繋げるこゝろができました。沼田西中の素晴らしい合唱の伝統を見事に引き継ぎ発展できたのは、毎日の生活の中で3年生としての自覚を持ち、常に学校全体をリードし1・2年生の模範となる取組をしてきたからこそその成果です。主体性と支え愛を見事に体現してくれました。

3年生の皆さん、この沼田西中で身に付けた力を基に、無限の可能性に向かって大きく飛躍してください。そして、いつまでも心強い沼田西中の応援団になってください。

3年生の保護者の皆様

お子様の卒業おめでとうございます。義務教育9年間を修了し、心身ともに逞しく成長した姿に、喜びと頼みさを感じていると思います。

入学以来3年間、「主体性と支え愛の創造」を目指した本校の教育活動推進にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございました。これまでの多くの成果を挙げる事ができたのも、保護者の皆様の多大なるご理解とご協力のおかげと心より感謝申し上げます。

お子様の卒業後も引き続き、それぞれのお立場からご支援いただければ幸いです。一人一人の将来に幸多かれとお祈りいたします。

「自分たちの手でより良い学校生活の実現に向けて」(年度末生徒総会より)



年度末の生徒総会が2月27日(月)の3・4校時に行われました。新型コロナウイルス感染予防対策として、発表者のみが2階多目的室に集まり、リモートで各クラスとつないで行いました。

総会では、各学級・各専門委員会・各部活動・生徒会本部から本年度の取り組み内容や成果、また次年度への引き継ぎ事項等の発表、そして会計の中間決算報告がありました。また、今回は、校則の見直しや本部役員選挙規定の変更、専門委員長選挙についても協議され、その結果、全議案が可決・承認されました。

その後、今後のより良い学校生活に向けての生徒会の新しいテーマ「挑戦～ Believe myself Believe in your friends～」が発表されました。このテーマのもと、今後の生徒会が様々なことに挑戦し、西中生徒会が益々発展していくことが大いに期待されます。

各議案が生徒主体で協議され可決・承認さ

れたことは、生徒会の目的である「生徒の手によるより良い学校生活を送るための改善」がされたということです。この姿は、正に「主体性と支え愛」を具現化した姿であり、「自治」を実現した姿でした。

そして、何よりも大切なことは、自分達で決めた内容を自分達が実践し、実際の学校生活をより良いものにしていくことです。せっかく協議した内容が「絵に描いた餅」になってしまっては意味がありません。協議したことが机上の空論で終わらないようにするために、実際の

の取組に結びつけていきましょう。



「少年よ大志を抱け (Boys be ambitious)」の続きから学ぶこと (校長講話より)



「少年よ大志を抱け (Boys be ambitious)」これは札幌農学校(現北海道大学)の教頭だったクラーク博士が、1期生との別れの際に生徒に向けた言葉だと言われています。非常に有名な言葉で、おそらく一度は聞いたことのある言葉だと思いますが、この言葉には続きがあると言われています。それは、「金銭や私欲を求める大志であってはならない 人として為すべき全ての本分に対してのものであれ」という言葉です。

さて、この「人として為すべき全ての本分」とは何でしょうか？人それぞれ様々な考えがあると思いますが、私は二つのことを考えました。一つは「自分自身の人格を高めること」。二つ目は「社会に貢献できる力を身に付けること」。つまり、人として為すべき全ての本分に対しての「大志」とは、「個人的な欲を追求して一時的な高い名声や地位を得ることではなく、人生に渡って自分自身を高め、人の役に立っていく」ということだと考えました。人生に渡って取り組むことだからこそ「大志」なんだと思います。

西中の生徒それぞれに夢があると思いますが、その実現に向けた生き方の道しるべとして、この「大志」の考え方を覚えておいてほしいと思います。

《コラム～校長室より・校長の独り言～》



ある日の給食準備の時間、私がいつも通りに給食室前の廊下で手指消毒をしていると、ある生徒が「校長先生、この針が落ちていました」と声をかけてくれました。「ありがとうございます。針は危ないから、拾ってもらってよかったよ。」と言って針を預かろうとすると、その生徒は自然に針の尖った方を自分に向け、丸まった方を私に向けてくれたのです。「なんて優しい生徒なんだ」と感激しました。

こうした思いやりのある振る舞いが自然にできることは素晴らしいことです。「勇気(正しい判断と思いやりの心)」は、こうした日常生活の中のちょっとした優しい行動の積み重ねで身に付いていくんですね。